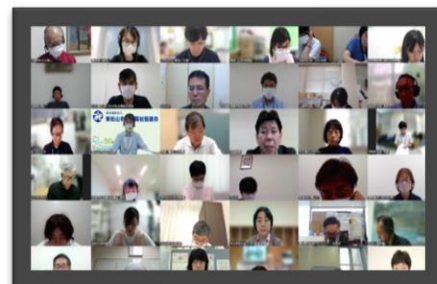


令和6年度 埼玉県社会福祉法人社会貢献活動推進協議会

第1回 推進連絡会議

実施日	7月11日(木) Zoomによるオンライン
参加者	74名 (推進協会員施設・社協)
講師	一般社団法人埼玉県子ども食堂ネットワーク 代表理事 東海林 氏



参加者の様子

内容

埼玉県子ども食堂ネットワーク 東海林氏をお招きし、「子ども食堂から学ぶ地域における公益的な取組について」御講義いただきました。

東海林氏からは「子ども食堂を上手く使って、人と人をつなぐ機会として欲しい」とのこと
で、子ども食堂を「地域づくりのツールの一つ」としてとらえることが重要とのお話がありました。

また、講義のまとめとして、複数の社会福祉法人
(社会福祉協議会と社会福祉施設)による取組み
「輪島市社会福祉協議会×社会福祉法人弘和会」
のYouTube 動画の紹介がありました。

今年1月にあった能登半島地震以前の動画ですが、
東海林氏より、最新の活動状況を社協に聞いたと
ころ、5月にはもう子ども食堂を再開されていたそ
うです。被災地となり大変な時こそ、必要な場であ
ることをお話しいただきました。



【YouTube】
<https://www.youtube.com/watch?v=zAWwDTBIWAY>

参加者の声

- ・社協だけではなく地域の法人とつながりは、支援の幅を広げてくれると思った。
- ・まず「子ども食堂」にも様々な形のものがあり、社協をはじめ学校と連携し活動していることを知った。
- ・子ども食堂と施設の繋がりは難しいものと感じていたが、施設でも子ども食堂やフードドライブなどの活動から地域の方への貢献ができるのではないかと感じた。